



少子化に対応した活力ある学校 ④

学校運営上の課題が児童・生徒に与える影響

第102号及び第103号で述べた課題は、いずれも一般的に想定されるものです。実際に個別の課題が生じるか否かは、学校が置かれた諸条件により異なります。

仮に、そうした課題が生じた場合、児童・生徒に与える影響について、文部科学省は「手引」の中で、次のように述べています。



- ① 集団の中で自己主張したり、他者を尊重したりする経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身に付きにくい。
- ② 児童・生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい。
- ③ 協働的な学びの実現が困難となる。
- ④ 教員それぞれの専門性を生かした教育を受けられない可能性がある。
- ⑤ 切磋琢磨する環境が乏しく、意欲や成長が引き出されにくい。
- ⑥ 教員への依存心が強まる可能性がある。
- ⑦ 進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある。
- ⑧ 多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい。
- ⑨ 多様な活躍の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しい。

【学校教育法施行規則 第41条】 小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りではない。
※ 中学校については、第79条において小学校の規準を準用している。

天与の道

パナソニック創業者／松下幸之助

自分には自分に与えられた道がある。天与の尊い道がある。どんな道かは知らないが、他の人には歩めない。自分だけにしか歩めない。二度と歩めぬかけがえのないこの道。

出典：「賢人たちに学ぶ 道をひらく言葉」本田季伸著（かんき出版）

※ 人は皆、自分だけにしか歩めない道を歩んでいる。こう考えると、一步一步が尊く思われます。